

将来の電力系統の先進的な制御・運用に関する研究
大規模システムの制御・運用アルゴリズム

技術分野分類 5601：電力工学・電力変換・電気機器

技術キーワード (2)電力系統工学

産 業 分 類 (2)電力系統工学

内 容	概 要	風力発電や太陽光発電などの再生可能エネルギーの大量導入、従来の電源ミックスの見直し、蓄電池や電気自動車といった新たなエネルギー機器の普及、電力自由化に係る制度変革など、将来の電力系統にはこれまでにない大きな変化が予想される。本研究では、2030～2050年といった将来の電力系統を想定し、需給バランスや適切な潮流状態を維持するための先進的な制御・運用に関する研究に取り組んでいる。
	従来技術・ 競争技術 との比較 (優位性)	従来の電力系統の制御・運用では、需給制御では火力機・水力機等の電源を、潮流制御では調相設備等を利用していたが、本研究では蓄電池などの新たなエネルギー機器の利用を想定し、従来の制御リソースと協調した新たな制御・運用手法の確立を目指している。
	本技術の 有用性	将来の電力系統の制御・運用を実施する際、本研究で開発した手法を適用することができる。
関連情報 (図・表・写真等)		なし
適用可能製品		電力系統の制御・運用
技術 シーズ 保有者	氏名 所属・役職	益田 泰輔 (ますた たいすけ) 名城大学 理工学部電気電子工学科 教授
技術 シーズ 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	名城大学 学術研究支援センター 052-838-2036/052-833-7200 sangaku@ccml.meijo-u.ac.jp

■知的財産

■試作品状況

無

提示可

提供可

作成日 2016 年 12 月 13 日